

私たちの目標 「食で社会を変える」 -食と農から広がる地域の輪-



研究内容		
<p>H29.9.10~H30.4.26 食育DVD作成 学校食育課題解決に貢献することを目的に、酪農・牛乳についての食育教材を作成。</p> 	<p>H30.5.29 中学校への出張食育授業 酪農、食・命の大切さ、牛乳について理解してもらうことを目的に、乳牛の一生や食育DVDを用い、授業を実施。</p> 	<p>H30.6.1 小学校への酪農体験 食・命の大切さ、牛の体について知ってもらうことを目的に、酪農体験を実施。</p> 
<p>H30.7.15 関係機関との協力・連携 農産物への理解向上を目的に、バターづくり体験や、牛の体について、説明を実施。</p> 	<p>H30.8.10 関係機関へ講演 食育DVDの活用方法について知ってもらうことを目的に、活動報告や食育DVDの再生を実施。</p> 	<p>H30.10.20~21 成果・実践発表 私たちの活動を多くの人知ってもらうことを目的に、活動報告とポスター発表を実施。</p> 

研究の成果

地域の食育リーダーとして、食育を実施することで、食の理解や残乳などの学校食育課題の解決に寄与することができた。また、地域と連携した食育実践の環を築くことができ、地域と連携した食育推進のモデルケースとなり、農業高校生として、地域に貢献することの大切さに気づき、農芸高校の役割を見直すことができた。

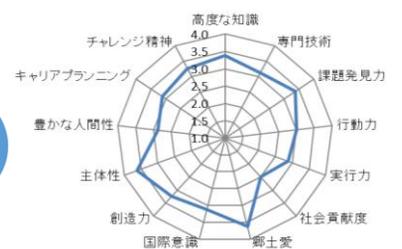
私たちの学び1

学習した知識を活用し、地域課題解決に向けた研究に取り組み、地域に貢献し、郷土愛について理解を深めることができた。また、反省点を改善し、実施を重ねるごとに自信が付き、失敗と成長を繰り返すことでより成長を実感できている。

Q 活動を通じて自分自身が成長したと思いますか。(実施生徒8名対象)



活動実施後アンケート1



活動実施後アンケート2

私たちの学び2

具体的には、活動の社会的意義や地域貢献の姿勢について、農業高校生として実感できている部分は多いと感じている。

ポートフォリオ調査

質問項目	具体的な場面や行動
環境や社会的意義を感じているものについて	大学との高大連携を行い、授業の構成方法や、理解度の効果測定方法を学ぶことで、出張授業の実施や小中学生へのアンケートを実施できた。また、教員の方々にアンケートを実施することができ、活動の意義を確認できた。
地域や社会に対してどのように役に立ちますか	酪農を題材とした食育授業を行うことは、生徒の食・命に対する理解を深め、教員の牛乳生産に対する理解を深めることができる。と知ることができた。

今後の課題

- 大阪初の地場産乳製品の開発・販売「農芸牛乳」のブランド化をめざす
- 地域の食育リーダーとして、食に関する課題解決に寄与していく
- 地域の酪農家との多様な連携を実施していく